

## 2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史A	学年	1
				コース等	S
	使用教科書		『日本史A 現代からの歴史』東京書籍	履修単位数	2
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の中の日本を理解するにあたり、日本における近代国家の成立から現代に至る流れを理解する。</li> <li>・近代以降の日本を理解するにあたり、当該期を規定する近代以前の時代的様相についても考察する。</li> <li>・日本と各国の関係、国内政治・文化・経済の位相を把握する。</li> <li>・「歴史を学ぶ」ことにとどまらず、「歴史で学ぶ」姿勢を涵養する。</li> </ul>			評価の観点	定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。
<b>授業計画</b>					
月	単元・教材	学習内容			
4	第1章 近代日本の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回定期試験までの授業では、現代史をプリントを用いて取り組み、日本史の概要を学ぶ。</li> <li>・その学習と並行して、日本の47都道府県の位置と名称、そして都道府県庁所在地の名前を小テスト等で確認し、日本を学ぶ上での基礎能力向上に努めていく。</li> </ul>			
	第2章 東アジア世界の変動と日本				
	第3章 二つの世界大戦と日本				
5	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本				
	第5章 現代の世界と日本				
《第1回定期試験》					
6	第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回定期試験までの授業では、日本の原始時代を学び、日本人や日本列島が形成されていくルーツについて学んでいく。</li> <li>・日本(倭国)の国内の状況や、発展していく過程を学び、日本の独自性などの理解に努める。</li> <li>・日本(倭国)と外国、特に当時の中国王朝や朝鮮半島の国々との関わりを学び、どのような影響を受けたのか考察していく。</li> </ul>			
7	1 文化の始まり				
9	2 農耕社会の成立				
9	3 古墳とヤマト政権				
《第2回定期試験》					
9	第2章 律令国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回定期試験までの授業では、現在まで続く天皇家のルーツを探り、改元など現代日本の歴史についても考えていく。</li> <li>・平城京と平安京の政治をそれぞれ比較し、特徴や思想などの変化を考察していく。</li> <li>・日本に当時の中国王朝(唐)が与えた影響を学び、現代の国際関係と比較し、考察していく。</li> <li>・藤原氏の発展と、政治との関わりを学んでいく。</li> </ul>			
10	1 飛鳥の朝廷				
11	2 律令国家への道				
11	3 平城京の時代				
12	4 天平文化				
《第3回定期試験》					
12	5 平安王朝の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回定期試験までの授業では、約400年間続いた平安時代を学び、政治システムや政権担当者の変遷を踏まえた上で、その理由等を考察していく。</li> <li>・藤原北家の発展を学び、どのように権力を獲得していったのかを学んでいく。</li> <li>・ひらがなや和歌など、日本独自の文化が発展していく過程や理由を学んでいく。</li> </ul>			
1	第3章 貴族政治と国風文化				
2	1 摂関政治				
2	2 国風文化				
《第4回定期試験》					
3	3 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・源氏や平氏など、後に日本の政治を動かす武士の起源について学んでいく。</li> </ul>			
	第1学年の総復習				
1年生で学んだ内容を、プリントを用いて復習していく					
副教材	『最新日本史図表 二訂版』 第一学習社 『詳説 日本史B』 山川出版社				

## 2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史A	学年	1
				コース等	S
使用教科書			『高等学校 世界史A 新訂版』 清水書院	履修単位数	2
学習目標	<p>1. 現代の世界は、国々や諸地域が緊密に結び付き、相互の関係を深め、また激しく変化している。そうした中で、現代世界の基本的な構造とその変動について歴史的観点から把握する力を身につける。現在も世界各地で戦争や紛争は絶えず起こり、環境問題など地球全体を巻き込む多くの課題も残されている。そうした出来事や課題がなぜ起こっているのかを考察し、世界の歴史がどのような形で歩んできたのか、多角的に理解する。</p> <p>2. 現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して、真に平和で公正な世界をつかっていくために必要な力を身につける。</p>			評価の観点	定期試験の結果を軸に、出席状況・提出物・小テスト・授業態度・質問に対する発表の様子なども加味して総合的に判断する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4  5	第3章 ヨーロッパの再編と大西洋世界 1節 ヨーロッパの新時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15世紀末からの「大交易時代」により、それぞれの文明世界が一体化に向かって大きく動き出したことを学ぶ。</li> <li>・ヨーロッパ新時代について考察し、ルネサンスや宗教改革の果たした歴史的意義を学び、ヨーロッパにはどのような変化が起きたのかを理解する。</li> <li>・ローマ教会の対応と権威回復のための改革について考察する。</li> </ul>			
《第1回定期試験》					
6  7  9	2節 ヨーロッパの主権国家と大西洋世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの主権国家と大西洋世界の特質を構造的視野から把握し、主権国家の形成過程を理解する。</li> <li>・17世紀になると、ヨーロッパ諸国は資源・市場・投資先を求めてアジアやアフリカに進出したことを把握する。</li> <li>・大西洋三角貿易の発展とその影響について、欧米の進出に対応し、アフリカはどのような影響を受けたのかを理解する。</li> <li>・イギリスの絶対王政と議会の特色を理解する。</li> <li>・ピューリタン革命と名誉革命について理解する。</li> <li>・重商主義政策と海外発展とその歴史的意義について考察する。</li> </ul>			
《第2回定期試験》					
9  10  11	第4章 拡大する欧米の衝撃とゆれるアジア・アフリカ 1節 革命の時代へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命に関して、革命がおきた要因、結果に注目して理解する。</li> <li>・資本主義が確立して資本家が成長するとともに、社会問題や労働問題が発生したことについて理解する。</li> <li>・アメリカ独立革命・フランス革命とは何か、その理念とはどのようなものか学ぶ。</li> <li>・ナポレオン戦争にいたる過程とその歴史的意義について、背景となった啓蒙思想の内容も含めて理解する。</li> </ul>			
《第3回定期試験》					
12  1  2	2節 国民国家建設に向かう欧米諸国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナポレオン帝国後のヨーロッパについて、自由主義や社会主義が、ウィーン体制にどのような影響を与えたのかを中心に理解する。</li> <li>・1848年革命の意義を考える。</li> <li>・イタリアとドイツの国民国家形成過程について理解する。</li> <li>・19世紀アメリカにおける西部開拓の進展と南北戦争による社会の変化について考察する。</li> <li>・第2次産業革命と革命が世界に与えた影響を理解する。</li> <li>・列強の干渉に対し、アジア諸国はどのように対応したのか理解する。</li> <li>・ヨーロッパの進出とインドの植民地化、それに伴う社会の変容、抵抗運動について理解する。</li> </ul>			
《第4回定期試験》					
3	3節 帝国主義とアジア・アフリカの従属化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オスマン帝国の衰退とヨーロッパの進出による西アジア・アフリカの社会の変容、植民地化への抵抗運動、民族意識の形成などについて考察する。</li> </ul>			
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表』 第一学習社				